

ミュージアム体験プログラム

博物館の資料を使った体験型ワークショップ「ミュージアム体験プログラム」を開催します。学芸員と一緒に資料をじっくり見て・考え・形にする、博物館がもっと楽しくなる毎年人気のプログラムです。子どもから大人まで、どなたでも参加いただけます。

開催日時

- 6月14日、9月20日、10月18日、11月15日、1月17日、2月14日（いずれも土曜日）
- 13:30～15:00



ボランティアによる体験講座

- 着付け体験
十二単や鎧を着ることができます。
- さをり織り体験
織機をつかって、さをり織りを体験できます。



ぶんぱく
パートナーズ
募集!!

ぶんぱくを応援して下さる企業・店舗を募集しています。詳しい応募内容は、こちらの二次元コードまたはホームページをご覧ください。



各種講座・イベントの詳細や申し込み方法などは、当館ホームページをご覧ください。その他SNSにて当館の最新情報をリアルタイムで配信しています。



INFORMATION

■休館日

- 月曜日（祝日及び特別展開催期間中を除く）
 - 年末年始（12月29日～1月3日）
- ※7月11日(金)・12日(土)・13日(日)は、館内メンテナンスのため休館

■開館時間

[通常期] 9:30～17:30（入館は17:00まで）
[特別展開催時] 9:30～18:30（入館は18:00まで）

■観覧料

大人200円／大学・高校生150円／中学生以下無料

※特別展開催時は料金が異なりますので、詳しくはお問い合わせください。
※20名以上の団体に2割引、65歳以上の方は半額、身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳・ミラロID手帳提示の方と介護者1名は半額
※シニアいきいきパスポートの提示で無料

■レストラン

海鮮フレンチ まるせいゆ（文化博物館敷地内）
TEL: 078-917-9797 定休日: 月曜日（祝日の場合は火曜日に振替）
※詳しくはお問い合わせください。

■ギャラリー・大会議室利用

美術展・書道展・写真展などに利用できるギャラリー、講演会・研修会などに利用できる大会議室の貸館を行っています。
※料金や使用手続きについては、ホームページをご覧ください。お問い合わせください。

■アクセス

電 車: JR神戸線、山陽電鉄「明石」駅下車
県立明石公園のお堀東側を北上、徒歩5分
自動車: 第二神明大蔵谷出口より南西へ10分
第二神明伊川谷出口（東行きのみ）より南へ10分

■駐車場

駐車台数: 32台
1台1時間につき100円
（ただし、1時間未満の端数は1時間とします）
※駐車台数が限られるため、公共交通機関、又は近隣の有料駐車場（地図参照）をご利用ください。
※マイクログラス等でのご来館は、事前にお問い合わせください。



明石市立文化博物館

〒673-0846 明石市上ノ丸2丁目13番1号
TEL 078-918-5400 FAX 078-918-5409
URL <https://www.akashibunpaku.com/>



▲ホームページ



いわさきちひろ わらびを持つ少女
「あかまんとうげ」(童心社)より 1972年

2025年度

2025.4 ▶ 2026.3

展覧会

Museum Schedule

スケジュール

明石市立文化博物館

展覧会スケジュール

春季
特別展

2025.4.3^木~5.18^日

会期中無休

いわさきちひろ×plaplaX
あれこれいのち

いわさきちひろは、子どもたちの姿とともに、四季折々の草花や、虫や鳥、魚などの生きものたちを描きました。本展では、アートユニット plaplaX によるインタラクティブ（双方向）な作品で、ちひろの絵を楽しく見ながら、生態学の視点からちひろの描いた草花や生きものたちを紹介します。絵をみることを遊びとしつつ、いろいろないのちがなかくよく生きるにはどうしたらよいかを、ちひろの絵を通して考えます。



いわさきちひろ あやめと少女 1967年

企画展

2025.5.24^土~7.6^日

生誕140年 横山 蟹楼展

明石が生んだ俳人 横山 蟹楼は、明治から昭和にかけて明石での俳句文化の醸成に貢献した人です。松瀬青々々に師事し、30歳で所属する 鶯 派の大家となるほどの俳句の才を持ちながら、緻密なスケッチを残すなど絵を描くことも得意としました。大正14年(1925)に創刊した俳誌「漁火」は門下詩友が全国に及ぶなど、彼の与えた影響は明石だけに止まりません。展覧会では、蟹楼の業績を辿るとともに、自筆短冊やスケッチなどを紹介します。



横山 蟹楼 色紙
(遠き音のそれが鶯が叫ぶらう)

夏季
特別展

2025.7.19^土~9.7^日

会期中無休

そうぞうのかけら
一砂で紡ぐたなかしんの物語一

明石の海の砂をマチエール（絵肌）にし、優しく幻想的な作品を生み出したなかしん。海外での展覧会や壁画・大型作品の制作に取り組むなど画家として活動する一方、大人から子ども向けまで数多くの絵本を発表し、絵本作家としても幅広い世代の支持を得ています。

本展では、初期から最新作までの絵本原画・絵画・立体作品を映像やインスタレーションとともに展示します。



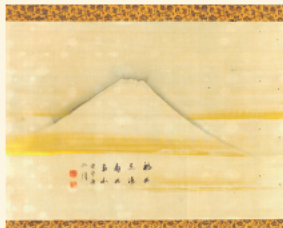
祝福の旅

企画展

2025.9.20^土~11.3^日・祝

明石藩の世界13 明石で華ひらく知と美の世界
一 蛻巖・峯山が遺したもの一

明石藩士で儒学者の梁田蛻巖は新井白石や室鳩巢らと交流があり、明石を旅した多くの文人たちが、蛻巖の残した碑文等を見に訪れるほど、彼の名は全国的に知れ渡っていました。また、江戸詰め明石藩士の林半水や藤村宗禎らは、画家であり蘭学者としても有名な渡辺峯山と親交がありました。今回は峯山や峯山の絵の弟子である 榑 榑山のほか、榑山の門人となった明石藩主、松平齊宣の絵画等を展示します。蛻巖や峯山が遺した学問や絵画・書等の作品を通して、彼らと明石藩主・藩士との交流の一端を紹介します。



松平齊宣画 富士図 (明石市蔵)

企画展

2025.11.13^木~2026.1.12^月・祝

発掘された明石の歴史展
船上城から明石城へ

市内及び周辺の遺跡からの出土品を、時代やテーマを変えて毎年実施しているシリーズです。今年は、明石の城をテーマに、明石地域の中世から近世にかけての城館跡から発掘された瓦や土器等を中心にとりあげます。市内でも魚住城跡や船上城跡、明石城下町跡などで発掘調査が進められており、当時の姿が徐々に浮かび上がってきました。最新の調査成果も含め、明石地域で展開した城の歴史を紹介します。



明石城 鯉瓦

企画展

2026.1.20^木~3.15^日

くらしのうつりかわり展

今では大きく様変わりした昭和時代のくらしの様子を、当時の道具や写真などで振り返ります。昔の道具や遊びの体験もでき、知る世代にはなつかしい、知らない世代はわくわくする、昭和レトロが学べる展覧会です。

※本展覧会は小学校の社会科・総合学習の参考展として、毎年多くの学校観覧で来館いただいています。見学申込みは9月頃に開始予定です。詳しくはお問い合わせください。



タヌキ型火鉢

その他のイベント

第8回 あかし若手アートチャレンジ「自画像」

2025.9.28^日~10.5^日

明石市近郊の高校生、大学生による絵画や立体作品などの優れた美術作品の発表として、博物館を開放し、地域に開かれた博物館づくりの一環として開催する展覧会です。本展参加者は、展示設営から撤収作業まで、学芸員や他の出品者と共に行います。今年度は、「自画像」がテーマです。出品者によるギャラリーツアーも開催します。



無料開館日イベント

7.21(月・祝)、10.12(日)、12.7(日)は、様々な業種や団体と連携して、博物館が市民の交流の場となるイベントを予定しています。



お得な年間観覧券
「ぶんぱくパスポート」のご案内

「ぶんぱくパスポート」は、発行日から1年間何度でも展覧会をご観覧いただけ、市内の提携店で特典が受けられるお得な年間観覧券です。さらに今年度は、特別展内覧会へのご招待や同伴者1名無料など、より充実した特典が付いた「ぶんぱくパスポートプレミアム」が登場！詳細および特典内容については、ホームページをご確認ください。

●ぶんぱくパスポート

大人 1,200円 大高生 900円

●ぶんぱくパスポートプレミアム

大人 3,000円 大高生 2,200円

